

平成29年度 沖縄県平和創造の森公園指定管理者制度運用委員会について

1. 開催日時・場所

1) 日時：平成29年7月7日(金) 10:00～12:00

2) 場所：沖縄県庁5階会議室

2. 出席状況

委員：張本文昭 委員長、神谷繁 委員、鮫島智行 委員、並河善知 委員

事務局：環境再生課 課長 安里修

班長 町田誠司

主任 久田弘二

オブザーバー(指定管理者)：沖縄県森林組合連合会 北川泰久

3. 対象

平成28年度モニタリング実施結果

4. 検証内容

(1) 指定管理者及び県が実施するモニタリングは適切になされているか。

(2) 指定管理者に対する県の指導・助言は適切に行われているか。

(3) 利用者アンケートや苦情に対する指定管理者や県の対応は適切に行われているか。

5. 検証方法

(1) 事務局(環境再生課)によるモニタリング実施結果の報告

(2) 質疑・意見(各委員からの質疑等に対し、事務局及び指定管理者から回答)

6. 議事の概要(主な意見)

【公園の設置目的や今後のビジョンについて】

(1) 施設の設置目的から考えられる指定管理業務の受託者としてあるべき姿とは何か。利用者を増やさないといけない、ということが分析されているが、県が描いている姿としてどの程度公園利用者を増やしたいか。などビジョンが明確にされていると受託者もやりやすくなるかと思う。

(2) (1)の内容について、募集要項や仕様書等の中で変えられるところがあれば反映させても良いのではないか。

(3) 本公園の設置目的や意義について、当時と現在とでだいぶ状況が違ってきている。

例えば、アンケートで遊具を設置してほしい、とあるが平和記念公園には、大規模遊具があり人気がある。自主事業でグランドゴルフ大会が企画されているが糸満市観光農園では盛んにやられていて人気がある。平和という点では、平和祈念公園があるし、ガマはというとひめゆりの塔でも見られる。

他の施設の利用状況を見ながら相対的に決まる、というところもある。例えばその地形や歴史などここにしかない独自のものを打ち出すのか。

そのあたりは指定管理を応募する民間事業者から、提案してもらうことにしてもよいのではないか。

【利用者数について】

- (4) 利用者数について、本公園は現在の利用状況からするとこれが例えば10倍程度増えたとしても混雑する感じではないほど、公園として相当なキャパシティがある。目標値は県が目安を示してもよいが、応募者から提案を求めてもよいのではないか。

【収支状況について】

- (5) 来園者が少ないということが課題。目的をもって数多くのイベントを行って人を集めるか、という検討が必要。本来、光熱水費の漏水対策による支出の軽減が無ければ計画と比較した場合赤字である。そういう所からも自主事業による収入が必要。
- (6) 人件費の引継ぎ期間が3ヶ月かかったとあるが、民間の感覚からすると少し長い印象がある。
- (7) (6)と関連するが、「技術の棚卸し」を行い、誰かが怪我や休んだりしたときなどに業務が止まらないように1人で複数の業務をこなせるよう「多能工化」し人材育成をすることで引継ぎ期間を短く出来たかもしれない。

【施設の稼働率・利用実績について】

- (8) 多目的広場の5,6月が芝養生のため利用を制限したとあるが、この時期は大型連休もあり人の出入りも多いので実施時期を検討しても良いのではないか。

【自主事業について】

- (9) 本公園のように立地条件が厳しい場合は、一般利用を促すために都会に出て行って中心地で体験イベントを実施し公園を知ってもらうという手法もある。その場合の参加者は、利用者数としてカウントできるか県でも検討してみて良いのではないか。それが難しいようなら、通常の利用者と分けてカウントすることはできるので検討しても良いかもしれない。
- (10) 自主事業と関連して山の日について、新しくできた祝日なのでとてもよいことだと思うが何をするのか？何を目的にしているの？がわからない。環境部が音頭をとって、他の公園や自治体に声かけして、今年はどういった取り組みがありました、などとりまとめて紹介するなどあるとよい。個々にやるとわかりづらい。

【収支状況について】

(1 1) 事業収支の計画がマイナスになっている。何がしかの経済活動をする団体民間企業が指定管理を受託するので、団体の発展のために仕事に取り組むのが普通。そうすると収支が同じくらいまたはプラスにしないと人材や組織、設備などが充実していかない。簡単に言うともっと儲かるようにすることが当たり前になるとよい。

(1 2) 今まで公園の仕事に関わってきたが、自主事業で利益がでることに神経質になっている団体が多い。どちらかという自主事業を増やすことで指定管理料が減らされるなど自主事業で儲けることに対してマイナスに捉えている事業者が多い。

公募時の条件の中で、稼いでも減らされることはないということを示すなど県から指導やリード、指定管理公募の条件等で方向づけをはっきり示してあげることが重要。

【防犯・防災対策について】

(1 3) モニタリングシートの中の防犯対策のところでは防災訓練があるとある。これは前年度も実施できていない。

実際、公園に人数が集まらないので防災訓練が成り立たない、などあるかもしれないが、サッカー大会など大人数が集まる時に実施してみてもどうか。シミュレーションはする必要があるし、マニュアルは整えないと協定違反になってしまう。

(1 4) 海岸域には海浜で遊んでいる方がたくさんいる。そういう方の逃げ込む場所として重要かもしれない。避難訓練がイベントとなるとよい。

また、指定管理者は変わっていく可能性があるので、県の方でマニュアル作成や防災（避難）訓練の実施など検討してよいのではないかと。

(1 5) 公園には AED が設置されていないが何か人が倒れた場合に、救急車が来るまでの間に措置をすることで人の命が助かるケースもある。

今後、ぜひ県が率先して指導する形をとってもらい、それに伴って、講習会を県全体で実施するなどしてほしい。

(1 6) (1 5) と関連して、他の公園では、ある自販機業者が自販機設置と合わせて AED を設置し、講習までしてもらえるところもあるようだ。

平和創造の森公園 指定管理者 モニタリングシート

. 履行確認

1 . 維持管理業務

(1) 清掃 [基本協定第10条(3)]

事業計画	実施主体 (該当者に 印)		実施内容		整合性の検証	業務改善に向けた分析
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
・清掃員1名配置 ・園内施設を適正に管理し快適な環境を作る。 [年度事業計画書]			・清掃員1名配置 ・管理作業員も業務で清掃作業に従事 ・園内施設を適正に管理し快適な環境を作る。 ・トイレ等の施設清掃は週2回実施 ・その他園内は適宜実施している。	報告書及び現場視察にて実施確認。	事業計画、事業報告のとおり実施されている。	適正に実施されており実施回数も妥当である。今後も適切な衛生管理に努める必要がある。

(2) 保守・点検 [基本協定第10条(3)]

事業計画	実施主体 (該当者に 印)		実施内容		整合性の検証	業務改善に向けた分析
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
・施設の安全点検を毎日行い、来園者の安全対策を徹底する。万が一事故が発生した場合は救護や応急措置が迅速にとれるように緊急連絡体制を徹底する。 [年度計画書]			・遊具施設は、1日2回巡回点検を実施 ・トイレ施設は、1日3回巡回点検実施 ・汚水処理及び電気施設の点検は月1回委託により実施	報告書及びその他関係書類にて実施確認。	事業計画、事業報告のとおり実施されている。	適正に実施されており実施回数も妥当である。今後も適切な保守点検に努める必要がある。

(3) 保安・警備 [基本協定第10条(3)]

事業計画	実施主体 (該当者に 印)		実施内容		整合性の検証	業務改善に向けた分析
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
閉園後の公園施設及びお手植え木の管理に万全を期するため、夜間常駐警備を行う。特に、年末・年始及び慰霊の日など特別な日においては警備体制を強化する。 [事業計画書]		×	・夜間常駐警備は、17:30から翌朝09:00までの15.5時間で1名を配置 ・24時間体制の機械警備の配置 ・年末・年始及び慰霊の日は、朝09:00から17:30までの臨時警備員を配置し、警備体制を強化した。	再委託先から提出される書類(警備日誌)にて実施確認。	事業計画、事業報告のとおり実施されている。	適正に実施されている。今後も安全な施設環境の保持に努める必要がある。

(4) 小規模修繕 [基本協定第10条(3)]

事業計画	実施主体 (該当者に 印)		実施内容		整合性の検証	業務改善に向けた分析
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
(公園) 1件30万円未満の修繕を実施(基本協定に基づく)			施設の修繕 ・加圧ポンプ修繕 ・水中ポンプ修繕 ・トイレサイン取替 ・コンクリート補修 他 計7件 機械・器具の修繕 ・芝刈り機修理 ・刈り払い機修理 他 計11件 合計18件 金額:934千円	報告書、現場写真及び現場視察時に実施確認。	事業計画、事業報告のとおり実施されている。	利用者の安全性と利便性に配慮して修繕を行っている。 施設の修繕については、予算を考慮した上で、優先順位を付け計画的に実施する必要があるため、今後も県と連携し、相互に共通意識が持てるよう情報共有を図る必要がある。

(5) 備品購入 [基本協定第23、24条]

事業計画	実施主体 (該当者に 印)		実施内容		整合性の検証	業務改善に向けた分析
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
必要に応じ、予算の範囲内で購入		×	・備品購入無し	-	-	今後も必要に応じ、優先順位、コストを考慮して備品の購入を行う必要がある。

(6) 防犯・防災対策 [基本協定第10条(3)、19条]

事業計画	実施主体 (該当者に 印)		実施内容		整合性の検証	業務改善に向けた分析
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
平常時は、防災意識を保持し、危機管理体制を確認するための避難・情報伝達等の防災訓練を年1回実施する。 同公園が海岸に隣接していることから避難誘導マニュアルに準じて県・糸満市と協議して策定する。 [事業計画書]		×	・報告書への記載無し。	報告書、現場写真及び現場視察時に下記の内容が未実施であった。 【未実施項目】 ・防災訓練 ・避難誘導マニュアル作成	事業計画のとおり、実施されていないかった。	指定管理者が再度防災対策に関して認識を高め、公園利用者の安全確保のため、防災訓練、避難誘導マニュアル作成を実施する必要がある。

(7) 料金徴収業務 [基本協定第10条(1)(2)]

事業計画	実施主体 (該当者に 印)		実施内容		整合性の検証	業務改善に向けた分析
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
経理チェック体制 管理指導員等 設定された利用料金を基に、算定、確認し利用者から徴収。 管理指導員等は利用者リスト、利用明細を添付の上、徴収金を公園管理経理担当へ納入。 経理担当者 利用者リスト、利用明細との照合、確認を行うなど複数チェックを行った後、金融機関へ入金する。 [事業計画書]		×	・事業計画のとおり実施した。 ・チェック体制については、フローチャートを参考	毎月のモニタリング月報及び事業報告書にて実施確認。	事業計画、事業報告のとおり実施されている。	適正に実施されている。今後も適切な料金徴収業務に努める必要がある。

(8)植栽管理 [基本協定第10条(3)]

事業計画	実施主体 (該当者に印)		実施内容		整合性の検証	業務改善に向けた分析
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
園内施設の植生地等の維持管理に係る作業員を4名配置し、適正な維持管理により健全な植生を維持する。 〔年度事業計画書〕			<ul style="list-style-type: none"> ・植生の保育管理について故損木撤去や枝打ち、剪定を実施、公園内の整備を図るとともに、生育に適正な環境作りを心掛けている。 <p>【エリア】 全国植樹祭記念の森 多目的広場（中央広場） その他広場（芝地）</p> <p>【作業項目】 ・下草刈り ・芝刈り（ロータリー式） ・芝刈り（肩掛け式） ・生垣花木剪定 ・植樹祭シンボル花木剪定 ・薬剤散布 ・芝補植 ・施肥 ・台風後の片付け ・枯損木撤去</p>	報告書、現場写真及び現場視察時に実施確認。	事業計画、事業報告のとおり実施されている。	・今後も園内各エリアの緑化・美化へ力を入れ、巡回点検による樹木への病害虫等の早期発見、予防保全に努め、引き続き快適な公園づくり、植栽管理業務を行う必要がある。

2. 運営業務

(1) 利用実績

1) 利用者数

		H27	H28	整合性の検証 (計画達成率 %)	業務改善に向けた分析	
利用者数	個人利用者数	38,315	51,925	136%	個人利用については、前年度比で136%と増加傾向であった。広報を強化したことで、新規客、リピーターなどが増えたことが要因かと思われる。	
	団体	多目的広場	11,369	6,957	61%	多目的広場については、5～6月まで、芝の張り替え、補修、養生を実施し一部利用を制限したこと、また、サッカー大会が前年度より少なかったことで、前年度比で61%と減少傾向であった。
		マヤーガマ	19,216	12,774	66%	マヤーガマについては、4～6月までの期間、施設の利用方法の調整期間中、入場を規制していたため、前年度比で66%と減少傾向であった。
		その他	3,884	4,649	120%	
合計		72,784	76,305	105%	今後も継続して、広報等により個人利用者を増やしながら、更なる増加に繋がる取組が必要である。	

2) 施設稼働率

【 平日】

施設名	H27		H28		整合性の検証 (計画達成率 %)	業務改善に 向けた分析
	稼働率	使用日 (開放日)	稼働率	使用日 (開放日)		
多目的広場	4%	10 (245)	9%	13 (194)	130%	
マヤーガマ	46%	112 (245)	36%	70 (194)	63%	

【 土日祝日】

施設名	H27		H28		整合性の検証 (計画達成率 %)	業務改善に 向けた分析
	稼働率	使用日 (開放日)	稼働率	使用日 (開放日)		
多目的広場	73%	88 (120)	63%	71 (119)	81%	
マヤーガマ	30%	36 (120)	17%	20 (119)	56%	

【 合計】

施設名	H27		H28		整合性の検証 (計画達成率 %)	業務改善に 向けた分析
	稼働率	使用日 (開放日)	稼働率	使用日 (開放日)		
多目的広場	27%	98 (365)	29%	84 (313)	86%	【平日・土日の稼働率比較】 多目的広場は、土日のサッカーでの利用が最も多く、平日の稼働率が低い。 一方でマヤーガマは、修学旅行生等の案内が大半を占めるが日程上平日の平和学習案内が多い。
マヤーガマ	41%	148 (365)	29%	90 (313)	61%	【使用率の前年度比較】 多目的広場は5～6月の間、芝養生により多目的広場の利用を停止していたため、前年度より稼働率が減少傾向となった。 マヤーガマは平成28年4～6月の期間、施設の利用方法の調整のため、入場を規制していたことから、稼働率が減少傾向となった。 今後は、多目的広場の平日利用者を増やすための取組が必要である。

(3) 受付・接客 [基本協定第10条(1)(2)]

事業計画	実施主体 (該当者に 印)		実施内容		整合性の検証	業務改善に向けた分析
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
来園者を笑顔でお迎えし、公園の施設概要を説明するほか来園者の要請に応じて公園案内を行うなど「おもてなしの心」を提供する。 [事業計画書]		×	来園者が何を求めているのかを常に考えながら、困っていそうなお客様には声をかけるなど、きめ細やかなサービス提供を心掛けた。	指定管理者からのヒアリング、アンケート資料等から実施確認。	事業計画、事業報告のとおり実施されている。	今後も引き続き適切な受付・接客に努める必要がある。

(4) 広報 [事業計画書 2.1) エ]

事業計画	実施主体 (該当者に 印)		実施内容		整合性の検証	業務改善に向けた分析
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
公園の認知度を高めるため、認知度向上対策事業を立ち上げ、ホームページを最大限に活用する他、公園パンフレットを県内小・中・高校及び県内大学、並びに空港、ホテル、旅行社など観光関連業界等に送付する。 [事業計画書]		×	<ul style="list-style-type: none"> ・公園のSNSページを開設し、公園の広報に取り組んだ。 ・ホームページ又はSNSページにてイベント情報をアップした。 ・小、中、高校及び大学に公園のパンフレットを年1回配布。 ・ホームページの閲覧者測定のためカウンター機能を付加した。 	ホームページ、SNSページなど関係資料により実施確認。	事業計画、事業報告のとおり実施されている。	<ul style="list-style-type: none"> ・公園情報の分かりやすさに配慮し、親しみをもってもらえるようなパンフレット・ホームページの更新や、公園の広報を積極的に行い、公園の新規来園者獲得やリピーターの確保に繋がる取組を行う。

3. 自主事業 [基本協定第55条]

事業計画	実施主体 (該当者に印)		実施内容		整合性の検証	業務改善に向けた分析
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
緑のサイクリング (苗木の無料配布)		×	×サイクリング未 実施 苗木の無料配布 実施	一部、実施部分につ いて報告書、現場写 真にて確認	サイクリングは、安 全面の不安から未実 施 苗木の無料配布は実 施	緑のサイクリングは安全面で、転倒に よる怪我の心配もあるため実施してい ない。苗木の無料配布は計画通り実 施。サイクリングについて、安全、安 心して楽しめる内容にできれば実施を 検討。
グランドゴルフ大会		×	×未実施	未実施のため、確認 ができない。	事業計画とおり実施 できていなかった	公園周辺の自治会等へ広報を測るなど して再度事業内容について要検討。
少年サッカー大会		×	2回実施	報告書、現場写真に て確認	事業計画以上に実施 した。(事業計画で は1回)	好評であったため、熱中症対策を十分 に行った上で、今後も継続を検討。
緑化教室		×	×未実施	未実施のため、確認 ができない。	事業計画とおり実施 できていなかった	講師を配置し対外的な広報を強化する などして再度事業内容について要検 討。
草木染め、押し葉、昆 虫標本作り教室		×	実施	報告書、現場写真に て確認	事業計画とおり適切 に実施。	ウォークラリーと並行して開催しており、 好評であったため今後も内容を充 実させ継続実施を検討。
親子ふれあいウォーク		×	実施	報告書、現場写真に て確認	事業計画とおり適切 に実施	親子でゆっくり散歩できるイベントと して好評を得ている。今後も、イベ ントにリピートして参加してもらえよ う、内容を充実させ継続実施を検討。
木工、木に実、木の枝 クラフト教室		×	3回実施	報告書、現場写真に て確認	事業計画以上に実施 した。(事業計画で は1回)	親子で手作りで作成し楽しく作業でき ることで好評を得ている。 今後は回数を増やすなどを含め内容を 充実させ継続実施を検討。
新年、風揚げ、餅つき 大会		×	×未実施	未実施のため、確認 ができない。	事業計画とおり実施 できていなかった	対外的な広報を強化するなどして再度 事業内容について要検討。
写生大会		×	×未実施	未実施のため、確認 ができない。	事業計画とおり実施 できていなかった	本計画は2年間実施されていない。公 園周辺の自治会等へ広報を測るなどし て再度事業内容について要検討。

星空観察会		×	実施	報告書、現場写真にて確認	事業計画とおり適切に実施	沖縄県との共催で実施している、自主事業としては唯一の夜間イベントである。好評であったため、内容を充実させ継続実施を検討。
農産物即売会及び植木市		×	× 未実施	未実施のため、確認ができない。	事業計画とおり実施できていなかった	計画通り実施されていない。公園周辺の自治会等へ広報を測るなどして再度事業内容について要検討。
みどりの散策会		×	実施	報告書、現場写真にて確認	事業計画とおり適切に実施	親子ふれあいウォークリ-との併催行事として開催。今後も併催行事として内容を充実させ継続実施を検討。
「山の日」緑のコンサート		×	× 未実施	未実施のため、確認ができない。	事業計画とおり実施できていなかった	対外的な広報を強化する、または事業自体を実施するかも含め要検討。
木灰そば作り体験教室		×	実施	報告書、現場写真にて確認	事業計画とおり適切に実施	樹木から採取した木灰を使用したそば作り教室を開催した。好評であったため、内容を充実させ継続実施を検討。
ピザ焼き釜体験教室		×	実施	報告書、現場写真にて確認	事業計画とおり適切に実施	親子ふれあいウォークリ-との併催行事として開催。今後は、ピザ釜の使用方法的説明を行う、などして今後の利活用を含めたイベントとして実施を検討。

. サービスの質の評価

評価項目	第三者（利用者等）評価	指定管理者 自己評価	業務改善に向けた分析
運營業務	接客対応 平均満足度 平成28年度アンケート Q.職員の接客について 良い 74% 普通23% 悪い13%	接客については概ね良い評価を得ている。しかし管理上、巡回業務や接客対応等で管理事務所を空けてしまうことがあるため、その間の対応が不十分になってしまうことが課題である。 業務改善や人員配置の見直しによりできるだけ管理事務所を無人にする時間を減らし、不在時の連絡先（携帯）の案内を充実させるなどして対応したい。	利用者アンケートから、満足度は74%と悪くはない結果である。一方で、管理事務所に人がいないことへの不満も挙がっているため、今後体制のあり方を含め改善が必要である。
	改善要望 ・問い合わせにきたが、事務所に誰もいなかった。		
施設・設備	平均満足度 平成28年度アンケート Q.次回も利用したいと思うか？ 利用したい 97% わからない 3% 利用したくない 0%	売店を希望する利用者が多かったため、試験的にキッチンカー（移動販売）による飲食販売を行ってみたが売上は芳しくなかった。飲食店が無いことが浸透してしまい、飲食物を持参する利用者が多数であることが原因と考えられる。 遊具については、施設全体の老朽化が激しく、修繕費により予算を割けない状況が続いている。	利用者アンケートから、満足度は97%と高い。一方で、飲食店の設置や遊具等の充実など本公園の機能についての要望も挙がっているため、今後検討が必要である。 また、公園のリピーターや新規利用者獲得、または活性化に繋がるようアンケート方法についても今後検討が必要である。
	改善要望 近隣に飲食店などが無いので売店をおいて欲しい。遊具を充実させてほしい。		
自主事業	平均満足度 自主事業に関する個別のアンケートは実施していない。	当初事業計画で予定していたイベントのいくつかを実行できなかった。その理由としては主に、調整不足や集客不足が要因である。 また、自主事業の多くで支出を求められるものがあり、収益が見込めるようなイベントを企画する「企画力」も不足している。	いま、実施している自主事業に対し、利用者がどのように評価しているかは、今後の自主事業、またはそれ以外の公園サービスの質を向上させる上でも必要性が高いと思われるため、今後のアンケート実施を検討する。
	改善要望		
総合評価	平均満足度 良い 85% 普通 13% 悪い 2% (接客対応、施設・設備の平均)	利用者の満足度は高く、知名度も徐々に浸透してきている。しかし未だ集客に結び付く「魅力」が弱く、力不足を実感している。	利用者アンケートからは82%とまずまず高い数値が上がっているものの、本公園のサービスに対する不満、要望も挙がっている。今後は、アンケートの実施方法の見直し・改善を行い、利用者のニーズを的確に把握し、県、指定管理者間で問題を共有化しながら満足度向上に積極的に取り組む必要がある。

評価項目については、施設の態様に応じて適宜設定して下さい。

．サービスの安定性評価

1．事業収入

(1) 収入

収入項目	事業計画	実績	対計画比 (%)	備考
利用料金収入	180,000	149,150	82.9%	
指定管理料	31,320,000	31,320,000	100.0%	
小計 (A)	31,500,000	31,469,150	99.9%	
自主事業収入	2,355,000	421,716	17.9%	
合計 (A)	33,855,000	31,890,866	94.2%	

業務改善に向けた分析

利用料金収入は、事業計画に比べて82.9%と減少傾向であった。

多目的広場の芝の張り替え、補修、養生のため、2ヶ月間一部利用を制限したことが影響していると考え

る。
自主事業収入について、自動販売機収入は利用者の増加に伴い、計画額320千円、実績額421千円と計画に対し実績が上回ったが、大きく収入を見込んでいた「山の日コンサート」の未実施が影響して計画との差額が生じている。

今後は、自主事業収入について自動販売機以外で収入が見込めるメニューを用意するなど全体収入を増やす検討が必要である。

(2) 支出

支出項目	事業計画	実績	対計画比 (%)	備考
人件費	17,680,000	18,425,630	104.2%	
消耗品費	535,000	667,670	124.8%	
印刷製本費	80,000	0	0.0%	
通信運搬費	300,000	289,903	96.6%	
施設災害保険料	105,000	142,310	135.5%	
公課費	1,100,000	1,618,367	147.1%	収入印紙、自動車税等
事務費その他	0	5,102	#DIV/0!	
燃料費	630,000	473,135	75.1%	
光熱水費	4,500,000	2,421,766	53.8%	
修繕費	1,100,000	934,888	85.0%	
委託料	4,000,000	4,668,656	116.7%	警備、電気保安管理等
原材料費	200,000	823,697	411.8%	
使用料・賃借料	600,000	540,264	90.0%	
備品購入費	300,000	0	0.0%	
その他管理費	140,000	10,000	7.1%	
小計 (B)	31,270,000	31,021,388	99.2%	
自主事業支出	2,595,000	358,417	13.8%	
合計 (B)	33,865,000	31,379,805	92.7%	

業務改善に向けた分析

人件費は、補助指導員の入替が生じたことに伴い、3ヶ月程度の引継ぎ期間中、2名体制となったため増額となっている。

光熱水費は、平成26年度内に漏水調査・修繕を行い、水道費を抑えられたことによる減額である。

委託料は、園内樹木の枯損木剪定作業を実施したことに伴う増額である。

自主事業支出は、「山の日コンサート」の未実施が影響して計画との差額が生じている。

次年度は今回増えた人件費やそれに伴う公課費の減額、及び光熱水費の減額等が見込まれるため適正な計画額への見直しを行う必要がある。

2. 経営分析指標

評価指標	事業計画	実績	対計画比 (%)	備考
事業収支 (収入(A) - 支出(B))	-10,000	511,061	-	
利用料金比率 (利用料金収入 / 収入(A))	0.532%	0.468%	88.0%	
人件費比率 (人件費 / 支出(B))	52.2%	58.7%	112.5%	
外部委託費比率 (外部委託費合計 / 支出(B))	11.8%	14.9%	126.0%	
利用者あたり管理コスト (支出(B) / 利用者数)	465	411	88.4%	H27利用者 72,784人 H28利用者 76,305人
利用者あたり自治体負担コスト (指定管理料 / 利用者数)	430	410	95.4%	H27利用者 72,784人 H28利用者 76,305人
<p>業務改善に向けた分析</p> <p>「利用者あたり管理コスト及び利用者あたり自治体負担コスト」は、支出を押さえ、利用者が増加したことによりコスト減となっている。しかし、類似施設と比較した場合、依然として高い値であるため利用者数増に努める必要がある。(県民の森(森林公園) H27年度:利用者あたり自治体負担コスト113円)</p>				

経営分析指標の評価の考え方

評価指標	計算方法	評価の考え方
事業収支	収入 - 支出	事業収支がマイナスの場合、継続性の面で課題となるため、県、指定管理者で協力して黒字化のための方策を協議する必要がある。
利用料金比率	利用料金収入 / 収入	指定管理者の主な収入源がどこにあり、それが安定したものであるのかを確認する。
人件費比率	人件費 / 支出	支出の中で人件費が減らされすぎていないか、それにより効率が低下していないかを確認する。
外部委託費比率	外部委託費合計 / 支出	外部委託に過度にシフトしていないかを確認する。
利用者あたり管理コスト	支出 / 利用者数	1人あたりの利用者に対してどれだけのコストが費やされているか。コストが少なくても利用者が少ない、あるいは利用者は多いがコストがかかっているなど、前年度との比較、類似施設との比較により、当該施設の効率性を確認する。
利用者あたり自治体負担コスト	指定管理料 / 利用者数	1人あたりの利用者に対してどれだけの県による財政負担がなされているか。前年度との比較、類似施設との比較により、当該施設の効率性を確認する。